

教区通信

ふくおか

2022(令和4)年7月1日発行

Vol.137

発行

「御同朋の社会をめざす運動」
福岡教区委員会



「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) スローガン

結ぶ **絆** から、広がる **ご縁** へ

—From tying bonds to great encounters—



▲ 6月17日 戦争犠牲者追悼法要



▲ 6月20日・24日 公聴会



▲ 6月7～8日 第5連区布教団協議会



▲ 6月26日九州地区スカウト指導者会総会

P2～P3 本願寺福岡教堂主管・福岡教区教務所長就退任のご挨拶

戦後77年 戦争犠牲者追悼法要

P4 戦死者から問われていること

P5 戦争は地獄

P6 実践運動福岡教区委員会委員紹介

P7 各組僧侶研修会・推進協議会日程

P7 法話「東京暮らしに浄土真宗の法の味?!」

P8 行事予定・編集後記

福岡教区教務所長・本願寺福岡教堂主管 就任のご挨拶

福岡教区教務所長 高原 眞見



謹啓

慈光照護のもと

益々ご清祥のことと

慶賀に存じます

この度、去る四月一日付をもちまして、福岡教区教務所長・福岡教区法要事務所長・本願寺福岡教堂主管兼ねて本願寺大牟田別院輪番を拝命いたしました。有り難く存じますと共に、折りしも、来たる明年三月よりご修行になります「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」の円成に向け中央・地方が一体となってお待受の気運を醸成させる時にあつて、ご当地にご縁をいただきましたことの責任の重大性を痛感し身の引き締まる思いでございます。

この上は教区の皆さまのご指導ご懇情を賜り、ご法義繁昌に向け、微力ながら全力を傾注し精進いたしてまいる所存でございます。

私たちは、コロナ禍で三度目の梅雨の時期を迎えまして、顧みますとこの二年の歳月はコロナウイルス蔓延の猛威の前に、教区の活動は停滞を余儀なくされたことでありました。皆さま

の現場におきましても、門徒さまの健康・安全を確保するためには致し方ないこととして、法事や行事の中止、あるいは延期を余儀なくされ、ご法義ご相続にも影響し寺院運営にも経済的打撃は困難を極められたことと拝察いたします。公私にわたり多大なる影響を被られた皆さまに心からお見舞いを申しあげます。

現在の福岡県全体での感染者数は未だ高止まりではありますものの、徐々に社会活動が戻ってきている様相を呈しておりますことに鑑みますと、教区においても一層の感染対策を徹底した上でコロナ前の状態に活動を戻していく必要を感じております。

私たちは、感染が未だ続いていることを忘れず、こまめな手洗い、その場面に応じたマスクの着用等、一人ひとりが「感染をしない、させない、広げない」という意識を常にもって慎重な行動をとることが求められておりますので、引き続き皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

着任にあたりご拝眉の上ご挨拶申しあげるべきではございますが、略儀ながら教区報を以ってコロナ禍のご自愛を念じつつ就任のご挨拶を申しあげ擱筆いたします。

退任のご挨拶

本願寺人吉別院輪番 野村 宗雄



去る四月一日付にて、宗務所出仕(退職)並びに宗務所(所務部)嘱託職員として本願寺人吉別院輪番就任の辞令を受けました。

人吉・球磨地域は、幕藩体制下当地相良藩の念仏禁制政策の中、命がけで宗祖聖人のみ教えを相続した「隠れ念仏」の由緒歴史があり、別院は、この地人吉市を中心に多数のご門徒が所属の直属寺院です。

これまでの事務中心の教務所長から、一転して「ご輪番」と呼ばれる不慣れな立場に幾分戸惑いながら勤務しております。

さて、二〇一九年七月以来三年九月月に及ぶ福岡教区の在任期間中は一方ならぬご協力を賜り厚く御礼申し上げます。皆さまの熱心な取り組みと真摯な姿勢に学び感化されるところが多々ありましたが、これに対し十分に応えてこなかったと振り返っております。何卒ご寛恕のほどお願い申し上げます。

着任早々、ご門主さまご臨席の「平成二十九年七月豪雨一周忌法要」修行と被災地視察に始まり教区内外の災害関連業務が毎年続きましたが、今般令和二年七月豪雨の被災地に参り、他人事で

はない災害への姿勢、支援の重要さをあらためて実感しております。

四年近い在任でしたが、その後半はコロナ禍となり、課題や対策等を見出した多少の成果はあったとも言えますが、業務、諸活動が捗らず空白に近い二年になったことは誠に残念でした。

なお、コロナ禍となる以前は、沖縄での組長研修会、世界仏教婦人会サンフランシスコ大会、千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要、同朋運動部の水平社博物館訪問等々同行の方々とのご縁と学びを深める機会に恵まれました。有り難うございました。

宗門内外の厳しい情勢の中、任地は離れましたが、六字のみ名のもと、ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に向けて歩んでまいりたいと存じます。

最後に福岡教区の益々のご法義繁盛をご期待申しあげ、退任にあたってのご挨拶といたします。

親鸞聖人御誕生850年
立教開宗800年

慶讃法要依用
「新制 御本典作法」



本願寺福岡教堂事務所にて
経本の取扱いをはじめました
330円(税込)

戦後七十七年 戦争犠牲者追悼法要 非戦・平和を願うつどい 戦死者から問われていること

西嘉穂組 明圓寺 前任職 大分 哲照

この度は、戦争犠牲者追悼法要、非戦・平和を願うつどいにご縁を頂きました。一昨年の新型コロナウイルスの影響による休止を除いて、一九八四年からこの法要が続いていますことは、大変尊いことだと感じています。

今回の講題は、一首の短歌との出会いによります。それは、「戦没者といひかへしとき戦死者のするどき眸(まみ)はみえなくなりぬ」(小池 光)という歌です。

この歌を、紹介された歌人・今井恵子さんは、『戦没者』と『戦死者』の違いに、わたしたちはあまり注意を払うことがない。しかし、戦死者を戦没者と言ったとき、そこにそこはかとなく隠蔽のにおいがただよいはじめる。『するどき眸』を注視しなくてもよくなるのである。」と記されています。

戦死者は、今なお私たちの姿を、きびしい眸(＝ひとみ)をもつて凝視しておられるのではないでしょうか。「二度と戦争の過ちを繰り返すな。」「私たちが眠らせるな。」「あなた方も過去の歴史を忘れて眠ってはならない。」と。

かつて、中曽根康弘首相(当時)は、一九八五年八月十五日、靖国神社に公式参拝しました。それに先立つ自民党軽井沢セミナーの講演で、「国に殉じた人を国民が感謝するのは当然のこと、さもなくばだれが国に命をささげるか」と言っています。これは、戦争に

なったらすすんで国のために命をささげることを期待した発言でした。戦争国家に向かって行く姿勢を感じます。

一方、同じ年の五月八日(ドイツ敗戦の日)、当時西ドイツのヴァイツェッカー大統領は、敗戦四十周年にあたり連邦議会において演説しています。その中で、「過去に目を閉ざす者は結局のところ現在にも盲目となります。非人間的な行為を心に刻もうとしない者は、またそうした危険に陥りやすいのです。」(『荒れ野の四十年』岩波書店刊)と述べています。

戦死者から問われていること、それは、「過去に目を閉ざすな。」ということではないでしょうか。後に生まれたものは、過去と無関係なのではなく、過去の歴史を知らなければ、同じ過ちを繰り返すことになってゆきます。

最後に、梯實圓師の言葉を引用し、これからの課題として皆さんと共に考えていきたいと思っています。

「世俗の権力が自身にとって都合がよいように定めた社会秩序を、そのままするのが理想的な仏教者だというような発想は、少なくとも親鸞聖人にはなかったと思うのです。むしろ、阿弥陀仏の智慧と慈悲を基軸とした新しい精神秩序を一人ひとりが確立し、それを行動の基準として社会にもたらすことを念願しておられたのではないのでしょうか。」(『平等への視座』本願寺出版社刊)



戦後七十七年 戦争犠牲者追悼法要 非戦・平和を願うつどい

戦争は地獄

志摩組 浄光寺 門徒 井原 浩

今、ウクライナではロシアとの間で戦争となっています。都市が瓦礫の山となつて、毎日たくさんの方々が亡くなり、難民は逃げ惑っています。戦争とは相手が立ちあがれないように「殺しつくす、破壊しつくす、奪いつくす」ものと言われており、このことはテレビを見ているとよく分かります。またこのように家が破壊され、町が破壊されると住む所がなくなるので、難民が発生します。その数は「国外難民六〇〇万人、国内難民八〇〇万人」と言われています。

街や家が破壊されて、着の身着のまま逃げ回った子どもや老人、障がい者で命を落とした人は数知れません。今日も死者や難民が出ていると思えば胸が痛みます。

「戦争は国民の命と暮らしを守るためにするのだ」と言いますが、第二次世界大戦では、三〇〇万人以上が亡くなり、国土は爆弾、焼夷弾、原爆で瓦礫の山と化して、国民は路頭に迷いました。戦争では決して命



と暮らしは守れません。

戦争は地獄です。飢餓のために人肉を食べた。子どもを背負って焼夷弾の中を逃げていたら、子どもの首がなくなっていた。子どもが泣くと居場所がわかるから殺せと言われて殺したなど、他にもこんなことが本土はもちろん沖縄でも満州でもたくさんありました。焼夷弾地獄、原爆地獄、難民地獄、たとえ生き延びたとしても様々な困難に対する地獄が待っています。

またアウシュビッツのガス室での大量殺人、七三一部隊の生体解剖、凍傷実験、南京大虐殺など、戦争は人を鬼にすることです。戦争では解決するものではなく、たくさんの人に苦しみと悲しみ、憎しみを残します。さらに地球環境を壊し、核戦争にでもなれば地球に住めなくなるでしょう。

ところが、「憲法九条をなくして戦争できる国にしよう」「核を共有しよう」「敵基地攻撃能力を持つ」「そのために防衛予算を五兆円から十一兆円に増額しよう」としていますが、これは本当に怖いことです。子や孫のために、今、真剣に考えなければならないのではないのでしょうか。

2022(令和4)年6月17日に修行されました今年度の戦争犠牲者追悼法要の様子は福岡教区 YouTube チャンネルに掲載しております。
ご講師のお話しもより詳しくお聞きいただけます。



「御同朋の社会をめざす運動」福岡教区委員会委員 各部員名

委員長	高原 眞見 教務所長	
副委員長	副田 正士	末松 義成
中央委員	渡邊 慈海	
重点プロジェクト推進リーダー	副田 正士	

同朋運動部	福岡	真光	原田 憲司	
	御笠	光蓮	藤山 穰慈	
	遠賀	照圓	永寿 祥幸	布教団
	三門南	善福	西山 紹隆	保育
	三門北	秋風	石川 顕真	
	鞍手	清光	清水 智教	
	那珂	光蓮	簗原 智海	

門信徒教化部	早良	西應	小林 浩城	
	嘉麻	仙林	花田 恵蓉	
	東筑	満福	能島 覚	
	鞍手	清光	服部 捷子	門推
	粕屋	覚応	森山 英臣	
	那珂	光照	郡島 朋昭	
	西嘉穂	福専	尾上 博久	門推

広報部	志摩	専光	大塚 元志	
	上下	浄満	野上 裕也	
	東筑	西徳	熊野多美子	仏婦
	柳川	浄福	新田 寛行	
	下川東	西楽	菊池 裕規	
	西嘉穂	明圓	大分 樹心	
	那珂	大円	藤野 晃俊	社推協

非戦・平和部	怡土	妙正	丸隈 晃淳	
	怡土	正善	原田 円城	組長会
	早良	明光	鳥飼 睦夫	門代協
	御笠	正栄	伊藤 絹子	仏婦
	夜須	常円	倉掛 法雄	
	東筑	教念	古賀 哲乗	時対協
	三門南	勝光	伊東 祐樹	
	八女	覚成	川崎 義雄	

寺院機能推進部	怡土	真教	末松 義成	仏壮
	早良	西念	土生 顕信	少年
	宗像	浄徳	副田 正士	
	御笠	正栄	七里 称羽	仏青
	御笠	西福	和田 法明	勤式
	遠賀	妙楽	岡部 陽介	
	鞍手	光福	大友 昭子	
	西嘉穂	西蓮	渡邊 慈海	ご縁づくり



▲初回の委員会（全体会）の様相（5月26日）

福岡教区のホームページが新しくなりました！！

<https://www.f-hongwanji.or.jp/>

LINE（ライン）と Twitter（ツイッター）もできました！！

LINE 公式アカウント ID: @100xlzmt

Twitterアカウント: @f_hongwanji

2022(令和4)年度 「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)

人権啓発推進僧侶研修会 各組開催日時

組	開催日	会 所
志 摩	2022(令和4)年11月 4日(金) 19:00	専光寺
遠 賀	2022(令和4)年12月 2日(金) 13:30	光林寺
下川東	2022(令和4)年12月 4日(日) 15:00	安養寺

推進協議会 各組開催日時

組	開催日	会 所
志 摩	2022(令和4)年11月11日(金) 13:00	伊都文化会館
遠 賀	2023(令和5)年 2月 4日(土) 13:00	行満寺
下川東	2023(令和5)年 2月16日(木) 15:00	勝萬寺

※この他の組は7月1日現在で未定です

一言 法話

「東京暮らしに浄土真宗の法の味?!」

鞍手組 眞教寺住職 星野 奏真

生死の苦海ほとりなし ひさしくしづめるわれらをば

弥陀弘誓のふねのみぞ のせてかならずわたしける

(高僧和讃 龍樹讃『註釈版聖典』五七九頁)

苦しみに満ちた迷いの海はどこまでも果てしなく続いている。その海に長い間沈んでいるわたしたちを、阿弥陀仏の本願の船だけが、必ず乗せて浄土に渡してくださる。

(現代語版『三帖和讃』七四頁)

先日、近所のご門徒さんが「久しぶりに東京の息子のところに行ってきたのよ。でね…。東京は、時計が要らないってことに気づいたの」と言われました。

私の住む地域ならば、自然に囲まれて、人混みに揉まれることもなく、ゆったりと生活もできます。時計が要らないのは東京ではなく、ゆったりとした田舎暮らしではないのかと思っていました。

ご門徒さんが続けます。「ここは、買い物や病院に行くのもひと苦勞。バスも電車も無い、車に乗らない私が移動するには、乗り合いタクシーだけ。それも事前に予約が必要だから大変」「その点東京は、どこにでも電車があつて、いつでも乗れるから、時間を気にせず安心。だから時計を見ることがなかったの」という東京暮らしの一コマでした。

お話を聞きながら、「いつでもどこでも電車がある」「時間を気にせず安心」という言葉が、浄土真宗のおみのり、阿弥陀様の願いと重なり、ふと「浄土真宗は時計の要らない暮らしの極まりだなあ」と思いました。

私の日暮らしは右往左往、時間に追われ予定に埋もれ、時計無しではいられない一方で、生老病死のいのちの営みの上では、自分自身でさえ時間も場所も選べず、行き先も知れずに過ぎていきます。本当の安心はありません。しかし、そこにこそ阿弥陀様のお心が向けられます。「いつでもどこでもあなたを抱え浄土へ連れていく」の願いが私に響きます。「弥陀弘誓のふねのみぞ、のせてかならずわたしける」という親鸞聖人のご和讃が思い出され、「南無阿弥陀仏」称え聞きながら、改めて阿弥陀様の願いの周到さを有り難く思いました。

福岡教区教務所の予定表

月	日	曜	時	内 容
7月	20	水	13:00	子ども・若者ご縁づくり推進委員会 全体会・連絡協議会
	21	木	15:00	組長会
	22	金	14:00	護持口数調整委員会
	25	月	14:00	実践運動 常任委員会
	26	火	14:00	臨時教区会
	27	水	15:30	実践運動 門信徒教化部会
	28	木	10:30	布教団 役員会／13:30 布教団 講習会
	29	金	13:00	門徒推進員連絡協議会 役員会／14:00 仏教壮年会連盟 理事会
	30	土	13:00	九州保育大会(熊本、～31日迄)
8月	1	月	15:00	教堂・教区慶讃法要委員会
	2	火	14:00	ビハーラ・ライン・福岡 例会
	3	水	10:30	ビハーラ福岡 役員会／14:00 ビハーラ福岡 例会
	8	月	12:00	閉堂
	9	火		夏期休業(～17日迄)
	22	月	14:00	実践運動 広報部会
	26	金	10:00	第5連区ビハーラ協議会(WEB)／15:00 実践運動 寺院機能推進部会
	27	土		仏教青年連盟 定例会
	28	日	9:00	第1回門徒推進員全員研修会
	29	月	14:00	寺院仏教結成に向けた研修会(粕屋組)
9月	30	火	13:30	布教団 布教大会
	1	木		声明と雅楽の会 雅楽研修会(～2日迄)
	5	月	10:30	ビハーラ福岡 役員会／14:00 社会福祉推進協議会福岡支部 役員会
			14:00	実践運動 同朋運動部会
	6	火	14:00	保育連盟 園長会
	7	水		得度講習会(～8日迄)
	9	金		得度考査
	14	水	10:45	清掃奉仕／13:30 親鸞聖人讃仰講座(～15日迄)
	18	日		千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要(東京)
	21	水	10:30	ビハーラ福岡 役員会／14:00 ビハーラ福岡 例会
10月	26	月		本願寺派更生保護事業協会全国保護司研修会(福岡、～27日迄)
	28	水	14:00	ビハーラ・ライン・福岡 例会
	29	木	15:00	組長会
	7	金	12:00	社会福祉推進協議会福岡支部 街頭募金(福岡市天神)
	11	火	14:00	実践運動研修会
	12	水	19:00	第5連区青年布教使研修会(大分、～13日迄)
	14	金	10:45	清掃奉仕／13:30 親鸞聖人讃仰講座(～15日迄)
	18	火	14:00	ビハーラ・ライン・福岡 例会
	20	木		第5ブロック少年指導者研修会(宮崎、～21日迄)
	22	土		第46回九州地区真宗青年の集い長崎大会
	25	火		第5連区ビハーラ研修会
	28	金	14:00	社会福祉推進協議会福岡支部 評議員会
	30	日		第5連区仏教壮年大会(熊本)

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、予定は予告なしに変更する場合がございます。時間が記入されていない部分は未定です。

各行事開催の最新の状況については、主催者へお問い合わせください。

ご来堂の折は必ずマスクをご持参・ご着用ください。

各種行事に際しましては体温測定も実施いたします。

編集
後記

御衣替えも終わり、梅雨の時期を迎えました。この時期になると思い出すのが、私の住む朝倉地域で発生した九州北部豪雨です。まもなく5年になります。甚大な被害となり、今なお復興の最中。今年はどの場所でも大きな被害のない梅雨になることを願ってやみません。

発行責任者

浄土真宗本願寺派 福岡教区教務所長 高原 眞見

〒810-0055 福岡市中央区黒門3-2
電話:092(771)9081